

vol. 31

令和元年11月発行



議会だより うちこ

- ◎平成30年度決算・・・2～3
- ◎9月議会概要・・・4～5
- ◎常任委員会・・・6～7
- ◎一般質問(5名)・・・8～13
- ◎研修報告ほか・・・14
- ◎みなさまのこえ・・・15
- ◎議会の主な活動・・・16

「議会だより」へのご意見・
写真(表紙)を **募集中!**
お寄せください。
ご連絡は議会事務局まで
(裏表紙参照)
当号表紙撮影 下野 安彦 議員
タイトル【ワルイゴハイネガ〜】
モデル: るいくんとダイバンさん

30年度決算認定審査!!

9月6、9、10、11日の4日間の日程で「予算決算常任委員会」を開催、【平成30年度決算】に関して審査を行いました。

主な審査内容

予算決算委員会における各課の決算報告、質疑応答より抜粋

《総務費》

問 「ふるさと納税」は、返礼品だけでなく、どのような品に町で有効に使われたかが、大事なことだと考えるが、基金の今後の活用は。

答 内子町を応援したいという納税者の気持ちを大事に検討していきたい。

内子町の「ふるさと納税」人気No.1 返礼品は【からりハム&ソーセージ詰め合わせ】



《衛生費》

問 増え続ける不法投棄への対策は。

答 龍宮堰へ監視カメラを設置したが効果が出にくい。

30年度決算 事業効果を問う!

《土木費》

問 町営住宅使用料の滞納額が増えているが、その対策は。

答 生活困窮者もあり、対応に苦慮している。文書督促や戸別訪問、連帯保証人への連絡などで、徴収率を上げていきたい。

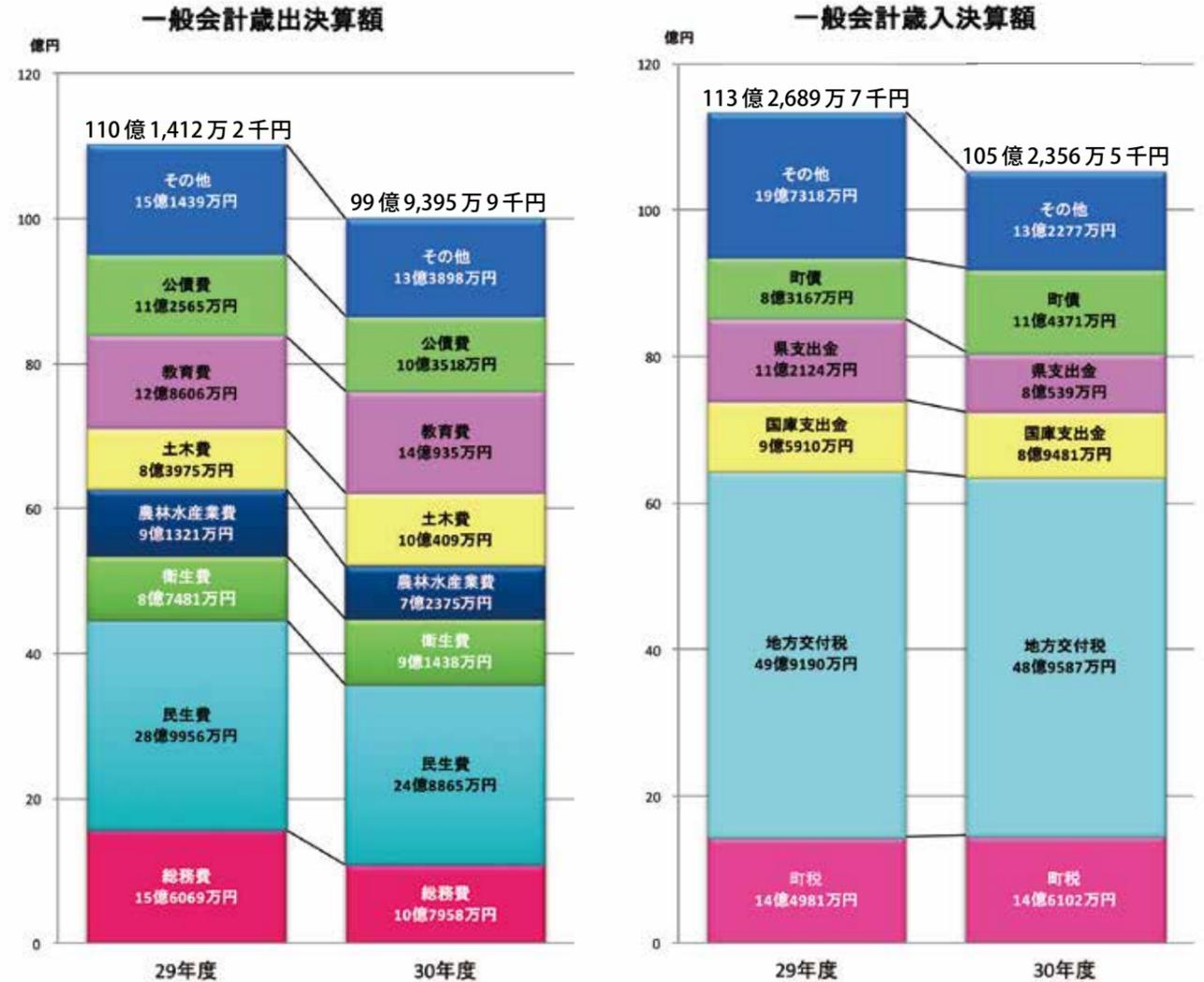
《教育費》

問 運動公園のプール改修が終わったが、利用促進の計画はあるか。

答 現在、内子運動公園全体が改修中で、来年には日本スポーツマスターズ軟式野球（*）の会場に決まっている。さまざまなイベントを通して周知を図っていききたい。



*日本スポーツマスターズ（公財）日本スポーツ協会が主催するシニア世代（40歳以上）を中心とした総合スポーツ大会。



一般会計歳入決算額 105億2,356万5千円
 (昨年比 マイナス8億333万2千円)
歳出決算額 99億9,395万9千円
 (昨年比 マイナス10億2,016万3千円)

歳入の主なマイナスの要因は「合併算定替段階的縮減」により地方交付税9,600万円あまり減少など。歳出の主なマイナスの要因は、「デジタル防災行政無線整備」完了による約4億円の減少が大きい。

平成30年度 一般会計・特別会計・公営企業会計 決算審査監査委員報告

地方自治法第233条、内子町監査基準に掲げる行政監査の考えを取り入れ実施。各会計の決算書及び関係調書等は予算並びに関係法令に準拠して作成されており、誤りのないものと認められた。主な意見は、次のとおり。

● 一般会計・特別会計

一点目、不用額は、①事業の効率的な執行による節約、②競争原理を生かした入札による残金（入札減少金）など、良い事例が多く見受けられた。
 二点目、委託料及び工事請負費は、競争性、透明性、経済性を踏まえた競争入札、比較見積もりが行われるなど、適正な予算執行が行われていた。

三点目、徴収事務は、①自主財源の確保、②公平な負担、③行政の信頼につながるものであり、収入未済とならないよう初期対応や滞納解消に積極的に取り組む必要がある。
 四点目、資金は①定期預金運用、②長期債券による積極的運用を行っているが、安全確実な運用が必要である。

● 公営企業会計

①水道事業は、有収率向上のため漏水防止対策、②下水道事業は、水洗化率・接続率向上のため効果的施策等、長期的展望で課題解決に取り組む、持続可能な上・下水道事業の経営に、一層努められたい。



内子町議会 9月定例会

第105回定例会が9月3日から18日まで、前年度決算審査を中心に16日間の会期で開催されました。

- 3日 町長招集挨拶及び行政報告
一般質問(5議員)
- 4日 議会広報常任委員会
議案提案
報告6件
決算認定8件
剰余金処分2件
条例関係7件
指定管理者の指定2件
補正予算4件
人事3件
- 5日 総務文教常任委員会
産業建設厚生常任委員会
- 6日・9日・11日 予算決算常任委員会
- 18日 各委員長から審査報告
議決

※傍聴者は11名でした。

議案について各委員会で審査!

議会に上程された議案が、それぞれの委員会へ付託、審査の後「委員会採決」を経て、最終日に「議決」されました。



議案 付託先委員会
(予): 予算決算常任委員会 (総): 総務文教常任委員会 (産): 産業建設厚生常任委員会

- 報告**
- ◎株式会社内子フレッシュパークからりの経営状況を説明する書類の提出について
 - ◎小田まちづくり株式会社の経営状況を説明する書類の提出について
 - ◎公益財団法人内子町国際交流協会の経営状況を説明する書類の提出について
 - ◎健全化判断比率の報告について
 - ◎資金不足比率の報告について
 - ◎内子町教育委員会の点検・評価の書類の提出について
- 決算認定**
- ◎平成30年度内子町一般会計歳入歳出決算の認定について(予)・・・2、3ページ
 - ◎平成30年度小田高校寄宿舎特別会計歳入歳出決算の認定について(予)
 - ◎平成30年度内子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について(予)
 - ◎平成30年度内子町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について(予)
 - ◎平成30年度内子町介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について(予)
 - ◎平成30年度内子町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について(予)
 - ◎平成30年度内子町水道事業会計決算の認定について(予)
 - ◎平成30年度内子町下水道事業会計決算の認定について(予)
- 剰余金の処分**
- ◎平成30年度内子町水道事業会計剰余金の処分について(予)
 - ◎平成30年度内子町下水道事業会計剰余金の処分について(予)
- 条例制定**
- ◎社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
- 条例の改正**
- ◎内子町印鑑登録証明事務条例の一部を改正する条例について(総)・・・7ページ
 - ◎内子町税条例の一部を改正する条例について(総)
 - ◎内子町へき地保育所保育料徴収条例の一部を改正する条例について(産)・・・7ページ
 - ◎内子町水道事業給水条例の一部を改正する条例について(産)
 - ◎内子町立公民館利用条例の一部を改正する条例について(総)・・・7ページ
- 条例の廃止**
- ◎内子町立幼稚園授業料徴収条例を廃止する条例について(総)・・・7ページ
- 指定管理者の指定**
- ◎五十崎特産センターの指定管理者の指定について(産)・・・7ページ
 - ◎内子町成留屋地区まちづくり施設の指定管理者の指定について(総)・・・7ページ
- 補正予算**
- ◎平成31年度内子町一般会計補正予算(第3号)について(予)・・・4、6ページ
 - ◎平成31年度内子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について(予) 4ページ
 - ◎平成31年度内子町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について(予) 4ページ
 - ◎平成31年度内子町水道事業会計補正予算(第2号)について(予) 4ページ
- 人事**
- ◎人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

令和元年度補正予算審議

一般会計 補正予算 可決!
3億8,274万4千円追加
(予算額累計 102億7,512万4千円)

防災行政戸別受信機整備工事	3億2,321万3千円	} 6ページへ
旧二宮家住宅附属建物解体等工事	535万7千円	
天神分団詰所新築工事(消防)	1,371万円	
シクロクロス全日本選手権補助	200万円 (下写真)	

特別会計 補正予算 可決!

- 国民健康保険事業 7,178万6千円追加
(予算額累計 21億6,404万8千円)
- 介護保険事業 3,206万9千円追加
(予算額累計 26億894万6千円)

公営企業(水道事業) 会計 補正予算 可決!

- 資本的収入(固定資産売却代金) 1億円(予算額累計5億6,358万5千円)
- 資本的支出(投資有価証券購入) 1億円(予算額累計7億8,213万6千円)



審議の結果、全会一致で可決、同意、認定されました。

※常任委員会で審査された主な内容は、次ページから掲載しています。



- 【補正予算】 年度初めの【当初予算】に対し、国の補助金等の変動や緊急の場合などに予算の追加やその他の変更を行うもの。
- 【特別会計】 国民健康保険や介護保険、学校宿舍など経理管理が独立した会計。
- 【公営企業会計】 地方公共団体などが営む事業の独立した会計。(内子町では上下水道事業のみ)

◎平成31年度内子町
一般会計補正予算(第3号)

【総務課】

問 旧二宮家住宅の附属建物を解体・撤去し、駐車場を整備するとなっているが、管理はできるのか。

答 利用者のためにしっかりと管理していく。

寄付された旧家に駐車場を整備

本宅から100mほどにある附属建物。半壊状態につき、解体撤去され駐車場として整備します。



町に寄付された小田地区の旧二宮家住宅。現在は地域の活動の場などに活用されています。

【教育費】

問 学力向上先進地視察とは。

答 「全国学力・学習状況調査」全国一位の秋田県でもトップクラスの横手市を考えている。学力向上委員会の教師5名を派遣したい。

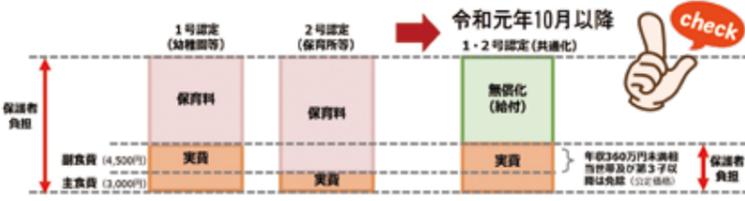
教育先進地とは？

【民生費】

問 10月以降、保育園の副食費は国が負担するのか。

答 主食・副食費ともに保護者の実費負担となる。年収360万円未満相当世帯及び第3子以降は免除される。

幼児教育無償化！給食費は？



【消防費】

問 災害発生時に迅速かつ確実な情報伝達ができる戸別受信機の整備は大切だが、防災行政無線メール配信の登録者数も増やすべきでは。

答 メール配信の重要性は認識しており、啓発やイベント時に登録サポートを実施している。

情報取得の多重化で災害への備えを！



町内放送(防災行政無線)【戸別受信機】の配布について
町内放送設備は【デジタル防災無線システム】に整備されました。今年度は、希望者に対し【戸別受信機】が配布されます。
「町内放送が聞こえにくくなった」という町民の声に応える【放送設備(スピーカー)の増設】と併せて3億2千万円の補正予算が可決されました。
*戸別受信機の相談は、総務課危機管理班まで ☎0893-44-6150

総務文教常任委員会

産業建設厚生常任委員会

印鑑登録証明事務条例の一部を改正する条例について

問 印鑑登録証明書に旧氏が表記されるにはどうすればよいか。

答 住民基本台帳へ旧氏併記の手続き後、印鑑登録証明書を申請すればできる。

*結婚後も旧姓で働く方のために、旧姓印鑑の継続使用が可能になりました。

町立幼稚園授業料徴収条例を廃止する条例について

問 給食費の無償化を県内に先駆けて実施してほしい。

答 現在のところ財政的には厳しいという認識である。

給食無償化は？

*本年10月より「幼児教育無償化」がスタート。しかし、給食費(主食・副食費)は原則保護者負担。(6ページ中段図参照)

町立公民館利用条例の一部を改正する条例について

問 高齢者をだますような業者等に対する対策は。

答 社会教育法の理念に基づいた内規を作成し、悪徳業者等に対応していきたい。

問 今後は入場料などをチラシに掲載して問題ないか。

答 使用目的の問題がなければ可能である。

自治センターの営利利用！？

*自治センター等での営利利用を一部認める改正。詳しくは各自治センター又は自治・学習課まで。

成留屋地区まちづくり施設の指定管理者の指定について

問 「大瀬の館」では観光客とお遍路さんで宿泊料に違いはあるか。

答 料金は一人四千円で同じ。お遍路さんの利用が大多数である。

五十崎特産センターの指定管理者の指定について

問 (有)しあわせの黄色いハンカチの経営内容は。

答 直近の決算では黒字。

内子町へき地保育所保育料徴収条例の一部を改正する条例について

問 石畳へき地保育所の子どもの数と今後の見通しは。

答 園児数は現在5名で、4歳児が卒業すると2名となるが、その後の出生状況により変わる。

へき地保育所も無償化！

※「石畳へき地保育所」

「保育所を設置することが著しく困難である地域に設置する施設」として、昭和36年に設置されました。平成26年「子ども・子育て新制度」発足により「へき地保育所」は廃止されましたが、町独自の施設として現在も運営しています。今回の無償化は対象外ですが、その目的が「子育て世帯の軽減を図る少子化対策」の一環であることから、町独自において無償化とするものです。



町政を問う！

久保 美博 議員 **9ページ**

- ・ 公共施設（建築物）整備と維持管理について
- ・ 合併処理浄化槽への転換促進について

大西 啓介 議員 **10ページ**

- ・ 「林業6次化事業」について
- ・ 「せとうち拠点地区での観光地域経営に関する連携協定」について

向井 一富 議員 **11ページ**

- ・ パワハラ等ハラスメント問題について
- ・ ひきこもり対策について
- ・ マイナンバーカードの普及について
- ・ 農作物鳥獣被害対策について
- ・ プログラミング教育について

下野 安彦 議員 **12ページ**

- ・ 内子産じゃばらの生産、商品開発や加工販売について
- ・ 内子町農林水産物処理加工施設について

関根 律之 議員 **13ページ**

- ・ 幼児教育無償化に対応する保育園の課題について
- ・ 高校生年齢の子育て支援について

当記事では「一般質問」の質疑内容について、誌面スペースの都合上一部抜粋となっています。各議員の質問項目については《質問通告書の内容》のとおりです。議会での質問並びに答弁の全文を知りたい方は、下記内子町ホームページ「内子町議会」〔会議録〕のページをご覧ください。
*会議録のホームページ掲載は「議会だより」発行から約2ヶ月後となります。ご了承ください。

内子町ホームページ「議会事務局」 QRコード⇒
<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>



どうする？老朽化する公共施設



久保 美博 議員

【公共施設（建築物）整備と維持管理について】

問 町有建築物の施設数、棟数、延べ面積はいくらあるのか。

総務課長

施設数は426施設、延べ面積は16万8537㎡であり、棟数については正確な数字を把握していない。今後、公共施設総合管理計画個別計画を策定する中で整理していく。

問 施設の適切な運用管理のための固定資産台帳の整備状況は。

総務課長

固定資産台帳を整備しておりそれに基づいて公共施設総合施設管理計画を立てている。

問 縦割り行政により施設の管理を担当が行っており、それぞれのデータを一括管理・運営をすれば改修、修繕に役立つと思うが、その考えは。

総務課長

それぞれの部署で関係する施設の改修耐震計画等、個別の計画があり、それは各課等で把握をしているだけのデータであった。これから個別計画を策定していく。必要があれば改正していく。



利用のない立川小学校教員住宅

問 今後の人口減少によって施設が過剰となることを思えば、新しい箱もの建設はいらないうと思うが、その考えは。

総務課長

行政事情、社会の変化によって変わってくると思うので、計画的に施設の整備等を図っていききたい。

【合併処理浄化槽への転換促進について】

問 合併処理浄化槽への転換促進のため、浄化槽設置台帳を整備して早急に取り組む必要があると思うが。

建設デザイン課長

浄化槽設置及び維持管理実態調査に基づき、平成22年度に浄化槽電子台帳を整備し実態把握の結果、下水道区域外の4997世帯に対し、合併処理浄化槽は2373世帯、単独処理浄化槽は644世帯、汲み取り世帯は1980世帯。

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換は、年平均4件、汲み取り方式から合併処理浄化槽への転換は、年平均14件のペースで推移している。

合併処理浄化槽の設置とそれに接続する水回りの改修には多

額の費用が必要となることから伸び悩んでいる。

補助事業も利用しながら公共下水道への接続、合併処理浄化槽への転換の促進に取り組んでいきたい。



合併処理浄化槽

問 例えば雨水の有効活用や、災害時の非常用の用水としてなど、不要になった単独浄化槽の有効活用に新たに助成制度を創設してはどうか。

建設デザイン課長

撤去にかかる助成制度はない。新たな制度については検討する。



大西 啓介 議員

【林業6次化事業】

【問】第三セクターの「株式会社小田森林ログハウジング」が、「株式会社内子・森と町並みの設計社」に改編され地域商社となったが、その新規事業の進捗状況と、売上額の推移は。

産業振興課長

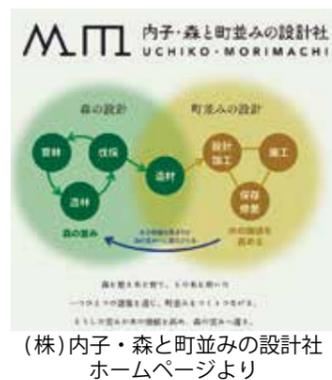
「株式会社小田森林ログハウジング」の平成30年3月の臨時株主総会において「株式会社内子・森と町並みの設計社」に名称変更、併せて事業目的の整備・拡充のため定款変更を行った。従来からの事業に加え、「森林資源に関する学習指導業務」、「森林整備事業」や「建築事業」、「木材加工事業」を柱としている。当面は、従来の事業を安定的に拡充させる取り組みによって、新しい事業についても今後の展開が期待される。

売上額の推移は、平成29年9月期(第24期)が2億8474万円。会社変更後の平成30年9月期(第25期)は2億3380万円。

【問】売上額が5千万円も落ちてくる要因は。

産業振興課長

会社を変更した初年度ということで、事業への取り組みが遅れたと考えている。



【問】新規事業として計画されている「内子ならではの家」の施行、販売状況は。

産業振興課長

販売目標は、設立5年後に年間5棟。建築促進を計るため昨年10月、内子町建設業組合と共催で町民に対するセミナーを開催した。

【ひきこもり問題】

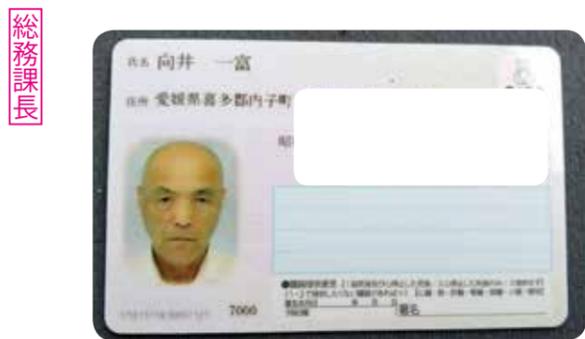
【問】先般実施された「内子町ひきこもり等に関する調査」の結果分析と、アウトリーチ支援等推進事業の実施について問う。

保健福祉課長

ひきこもりに関する実態調査は、民生児童委員を対象として行った。この調査から高齢の方、長期にわたっている方が多いことが分かった。関係機関から支援を受けている人は少なく、民生児童委員の回答にも「医療や行政の支援の充実が必要」と答えられている。アウトリーチ支援については、愛媛県が設置するひきこもり相談室や、保健所の相談窓口が担当しているが、いろんな機会を得てアウトリーチ支援につなげていけるよう取り組む。

【マイナンバーカード】

【問】マイナンバーカードの内子町の普及率と、町職員の普及率は。また、今後想定されるカードの利用用途を問う。



普及進むか？マイナンバーカード

総務課長

マイナンバーカードの内子町の交付は1566件、割合にして9.25%、職員の取得者は、18.13%である。職員とその扶養家族については、現在取得を強く促している。

今後想定されるカードの利用用途については、健康保険証としての利用、プレミアムポイントの付与、電子申請、コンビニでの住民票等の写しの取得、イベント会場等へのチケットレス入場や、不正転売防止への利用、診察券、クレジットカードなど多機能化の推進も検討されている。

【問】林業6次化事業の計画作成を請負ったコンサルタント「トビムシ」が月額30万円の報酬で同社の取締役となっているが、そうなった経緯と、現在までの成果は。

産業振興課長

今期の総会を経ずに公表できる状態ではないが、新しい事業展開のために現在取り組んでいると報告を受けている。

【観光連携協定】

【問】7月に締結された「観光地域経営に関する連携協定」について、具体的な内容は。

町並・地域振興課長

(一社)せとうち観光推進機構、内子町、大洲市、(一社)内子町観光協会、(一社)キタ・マネジメントの5つの団体で結ぶ広域観光連携協定。質の高い海外へのプロモーションや、さらなる観光客の受け入れができるように人的なネットワークや仕組みなどを構築していく。



【問】当協定における行政と観光協会、それぞれの役割は。

町並・地域振興課長

行政として内子町観光協会の活動を十分に支援するとともに、「資源の発掘」や「資源のブラッシュアップ」を積極的に行い、まちづくり型観光振興ができる環境を醸成していく。

【農作物鳥獣被害対策】

【問】内子町の農作物への鳥獣被害対策の現状を問う。

産業振興課長

鳥獣被害対策は、「内子町鳥獣被害防止計画」により、捕獲と防除の両面から取り組んでいる。捕獲については、内山猟友会の協力で年間を通して有害鳥獣として捕獲されたものに対し奨励金を出している。また、狩猟免許取得に係る経費の補助も行っている。

防除は、国の鳥獣被害防止総合対策事業や、町の単独事業として補助をしながら対策を講じている。



大型有害鳥獣捕獲施設



下野 安彦 議員

【内子産じゃばらの生産、商品開発や加工販売について】

問 樹齢の経過とともに収穫量も増え、加工・販売に苦慮していると思うが、現在の栽培農家数や収穫量、受け入れ態勢はどのように推移しているか。

産業振興課長 27戸の農家が5.6haほどの園地で取り組んでいたが、30年度末で19戸である。収穫量は、23年度には約3.8t程度で、平成29年度は約34.8tと前年度と比べ2倍の収穫量。29年度までは全量買い取りをしていたが、過剰在庫を抱えることが予想されることから、30年度は14.5tと買い取りの調整をした。

問 町と「からり」が連携して栽培を始めたと思うが、加工品の開発や販売は「からり」任せになっていないか。行政としてどのように取り組むのか。

産業振興課長

果皮のパウダー化やドライフルーツ化など、加工品としての商品開発やドレッシング、麺つゆなど30種類を超える商品を販売。内子産じゃばらの商標登録を行い、ブランド化を進めている。販売については、首都圏、関西圏だけでなく、海外においても、からりと連携して販売促進を進めている。大阪や東京に本社のある大手飲食チェーン店



じゃばら



関根 律之 議員

【保育士不足への対策】

問 10月から3歳児以降の保育園・幼稚園の利用料が無料になる。来春から保育園入園希望者が増え、保育士不足が加速し、保育の質が低下することはないか。

保健福祉課長

現在、3歳から5歳児のほとんどがすでに保育園か幼稚園を利用しており、無償化による園児の増加は限定的と考えている。

また、保育日誌などの記録様式の簡素化等により、保育士の日々の業務負担軽減にも順次取り組んでいきたい。

問 内子町の保育士の処遇水準をどう認識しているか。

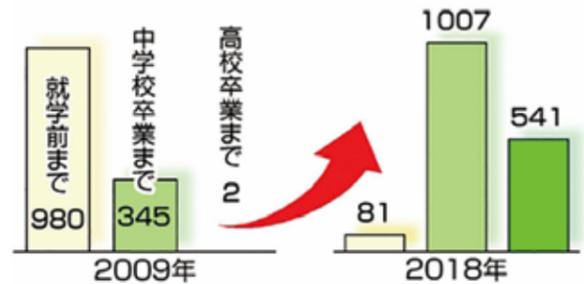
保健福祉課長 内子町社会福祉協議会立(以下、社協立)の保育園(注※)で働く、勤務11年目までの若手保育士の給与は、国から民間保育園に拠出される処遇改善費が加算されるので、内子町立の保育士の給与を上回っている。また、内閣府が公表している保育士幼稚園教諭の勤続7年目の平均賃金と比較して、年間給与額は同程度となっている。

問 保育園では利用者へ給食の副食材料費を請求する業務が発生し、事務負担が増えると思われる。行政による支援は。

保健福祉課長 社協立の保育園は社協事務局に1名の事務専従の職員が配置されている。副食費の受け取りは各保育園で行うことになる見込みだが、それ以外の事務は専従職員が担当することから、園の負担は軽減できると思われる。

(注※)町内では内子保育園、五城保育園、大瀬保育園、くるみ保育園。なお、こばと保育園、石畳へき地保育園は町立。

子どもの医療費助成を行う市区町村数の推移 (通院時の主な助成対象年齢。各年4月1日時点)



保健福祉課長 高校生年齢の医療費総額は、国保の医療費支出状況をベースとして試算は可能である。

問 内子町では中学卒業まで医療費の窓口負担を無料にしている。高校卒業まで医療費助成を行っている市区町村は、2018年度で541。全体の3割を超えたが、内子町でも制度拡充に向け、試算はできるか。

【高校生への医療費助成を】

稲本町長 健康面については一番大きなインパクトがあり研究・協議をしているが、薬事法との関わりがあり、現在は間接表現しかできない。町内でも広がるよう各企業等と連携しながら積極的に取り組んでいきたい。



じゃばら加工製品

経営の企業から、ハイボール・サワー・スカッシュなどの割り材の原料として果汁を使用。台湾の高級スーパーでは、じゃからサイダー、ピールなど5品目の輸出版売が始まっている。

【内子町農林水産物処理加工施設について】

問 カット野菜の加工というところで立ち上げた内子町農林水産物処理加工施設、現状と今後の利用はどう考えているか。

産業振興課長

加工施設も「からり」に管理を委任。トマト、もち麦、じゃばら、よもぎなどを加工生産している。独自の商品開発、販売重点商品の転換などにより、当初整備した機器類の一部に使用されていないものもある。

問 動いていない機械の割合は。

産業振興課長

割合的には分からない。



加工施設内の機械設備

【奨学金返済の一部を免除する制度を】

問 内子町独自の奨学金制度の利用実態は。

学校教育課長 今年度大学生の内子町奨学金制度では、募集人数8人に対して応募者2名、採用2名(全員)。高畑奨学金は、募集人数2人に対して応募者なし。

問 若者の定住促進のため、高校や大学卒業後、町に居住して就業した場合に奨学金返済の一部を助成する制度を実施している自治体があるか。

学校教育課長

本制度の利用者が返還期間中、内子町に居住した場合には最大10年間で20万円の免除を受けられる。

町並・地域振興課長

また、一般の奨学金利用者でも、内子町に定住して町内企業に就業した場合、町からの補助に加えて企業からも追加支援が得られるような仕組みができれば検討している。

傍聴席から



町議会傍聴を終えて

内子町立川
小田 清隆さん

これまでに数度、町議会を傍聴したことがある。あるときは、席を埋めるくらい。あるときは数名の時も。今回は残念ながら傍聴者が少ないときであった。

議会は、行政と我々町民の気持ちを代弁する議員さんのやりとりの場である。それを傍聴する町民が少ないのは残念である。傍聴者が多ければ議員さんの背中を押すことになる。できるだけ、多くの町民が参加されるのを望む。議会の活性化になるからである。

ところで、しばらくぶりであったので、議会の質問方式が変わっていたのに驚いた。総括質問の後、一問一答方

式になっていた。議会改革の中でとられた方式であるが、両者の緊張感を保つのにいい方式だと思った。ただ、質問時間を多く残して終了する議員さんも多く(長ければいいということではないが)、せっかくの公の時間ももたないとも思ったのは事実である。

議会開催は平日である。そのために傍聴者が少ないのは仕方がない。それを埋めるための「議会だより」はありがたい。行政と町民の代弁者の議員さんとのやりとりの緊張感が伝わってくる。

みなさんも是非傍聴してください。そうすれば「議会だより」が届くのが楽しみとなります。

【議会だより】のご意見番！
モニター様より(8月号について)



写真・図表等を多用し、議会関連の動きがよくわかるようにまとめられている。議会での質問・回答内容もよくわかる。
<60代 女性>

これからも分かりやすく、伝わりやすい
誌面作りに取り組んでまいります。(＃^^＃)

一般質問の保健福祉課の回答で「保険者努力支援制度交付金」は何に使われているのだろうか。



<40代 男性>

「保険者努力支援制度交付金」とは

特定健診の受診率や、がん検診受診率、糖尿病等の重症化予防の取り組みの実施状況等、その指標に対してそれぞれ成果を上げている保険者(自治体)に、交付金を交付するというものです。(内子町は県内第1位)

交付金は、次年度以降の国保財政に充てられ、事業の安定経営化が計られます。

<保健福祉課長よりご回答頂きました>

「議会だより」では、読者並びにモニター様からのご意見・ご質問に対して、経過報告並びに返答をしていく予定です。

新有権者の声
より良い社会をつくるために
自分のできること
内子高等学校三年 谷田 優真
私が18歳の誕生日を迎えたとき、自分が有権者になったという自覚が何一つありませんでした。しかし、あらためて考えてみて、選挙権が20歳から18歳に引き下げられ、多くの若者が選挙に関心を持つことは良いことだと思えます。これからの日本を担う若者たち自身で、将来の日本のあり方を考え投票することとは大切であり、私も勉強し理

解を深め、その一員になりたいと思うようになりました。しかし、最近の若者は自己主張がなく、周りの人の意見で投票してしまう人も少なからずいると思えます。その無責任な一票がこれからの日本を大きく左右するかもしれないことを自覚して、私は自身に与えられた一票を大切にしたいと思えます。私はこれからの日本について、国同士の対立、特に日本と韓国の関係が悪化していることが気になってきます。私は人間というのは、話し合えば分かり合える生き物だと思っています。歴史を振り返っても、貿易を発展させたり、戦争を終わらせたりしてきたのは、話し合いの力ではないでしょうか。しかし、一方の意見を頑固に押し付けていては、分かり合える日が来るのはまだまだ先になってしまいます。だから私は、相手側の声を聞き、お互いに争いをなくすことを大前提として、しっかりと話し合いをするべきだと思えます。これから先の日本が良くなる、住みやすい国になることを願っています。そのために自分にもできることがあると考え、世の中の様々なることに関心を

速報! 議会広報常任委員会研修報告

9月24日 埼玉県毛呂山町
25日 全国町村議会広報研修会(東京)

1日目、毛呂山町議会の議長をはじめ、広報編集委員全員と事務局で真摯に対応していただきました。誌面作りについて説明を受けたあと質疑応答、さまざまな情報交換ができ、あっという間の2時間、大変有意義な研修となりました。

2日目はシェーンバッハ・サボー(砂防会館)にて3講師4時間の講習会。主に文章の書き方や誌面の見せ方など、広報誌作りのテクニックを勉強しました。(各常任委員会の視察研修報告は次号に掲載予定)



毛呂山町での研修



真剣に学ぶ議会広報委員・事務局職員



毛呂山町議会広報編集委員の皆様と

祝 愛媛県町村議会議長会長
歴任の功績を表彰

令和元年7月25日、松山市で開催された「愛媛県町村議会議長会創立70周年記念議員研修大会」において、林博議員が第48代会長の功績を讃えられ、感謝状を授与されました。



林 博議員、おめでとうございます!

町内放送の内容が聞こえない!?
=>携帯にメールが届きます。

ご利用方法

- ① スマホ・携帯電話のQR読み取りカメラで撮影
- ② 表示されたアドレスへ
- ③ サービスを始めてみるを選択
- ④ メール画面になるので何もせずに「送信」
- ⑤ すぐにメールが届くので内容を見る
- ⑥ メールに記載されたアドレスを開く
- ⑦ 画面の内容に沿って項目を選択していく
- ⑧ [全て登録]で完了 =>すぐにメールが届きます



町内放送メール
受信設定用
QRコード



町内放送メール登録についてわからないことがあれば、お気軽にお問い合わせください。

内子町役場
総務課 危機管理班
☎ 0893-44-6150

議会の主な活動

8月

- 6日 「笹装飾コンクール」の審査<議長>
- 7日 第62回内子笹まつり「笹踊り」
- 16日 第104回臨時議会、全員協議会
- 20日 八幡浜・大洲地区
広域市町村圏組合議会町村議会（大洲市）
- 22日 大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合議会臨時会
大洲・喜多衛生事務組合議会第2回臨時会
（大洲市）
- 23,24日 四国議長会会長会（高知県）<議長>
- 27日 議会運営委員会



毎年恒例【うちこ笹まつり 笹踊りコンテスト】に参加しました。残念ながら入賞ならず！

9月

- 3日～18日
内子町議会9月定例会
- 3日 議会広報常任委員会
- 5日 総務文教常任委員会
産業建設厚生常任委員会
- 6日～11日
予算決算常任委員会
- 24,25日 議会広報常任委員会行政視察
及び町村議会広報研修
（埼玉県毛呂山町、東京都）



10月

- 2日 四国四県町村長・議長大会（香川県）<議長>
- 3日 長野県塩尻市行政視察受け入れ
- 7日 島根県伯耆町行政視察受け入れ
- 11日 内子町戦没者慰霊祭
- 16日 第60回四国地区町村議会議長会研修会並びに
第2回町議会議員研修会（徳島県）
- 19日 愛媛県総合防災訓練（鬼北町）<議長・副議長>
- 29,30日 議会運営常任委員会行政視察
（兵庫県佐用町・京都府与謝野町）



議会傍聴においでや！

次の定例会は
12月5日(木)
開会予定です



しゅうくん と かえでちゃん

「議会だより」表紙募集にご応募いただいた写真。ありがとうございます。

ご利用ください！【QRコード】

内子町ホームページ
「議会事務局」へ
つながります



*議長のスケジュールと交際費を掲載開始！
～議会に対するご意見はこちらへ～

議会事務局メールアドレス
gikaijimukyoku@
town.uchiko.ehime.jp



委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
下野 泉 菊地 向井 関根 大西
安彦 浩壽 幸雄 一富 律之 啓介

【議会広報常任委員会】

前号より「議会だより うちこ」の制作を担当するチームに加わりました。難しいイメージで捉えられがちな議会を、町民の皆さんに身近に感じ、理解していただけるよう、わかりやすい紙面作りを心がけていきます。
(関根 律之)

編集後記

発行／内子町議会 発行責任者／内子町議会議長 森永 和夫
編集／議会広報常任委員会 ☎0893(44)2115